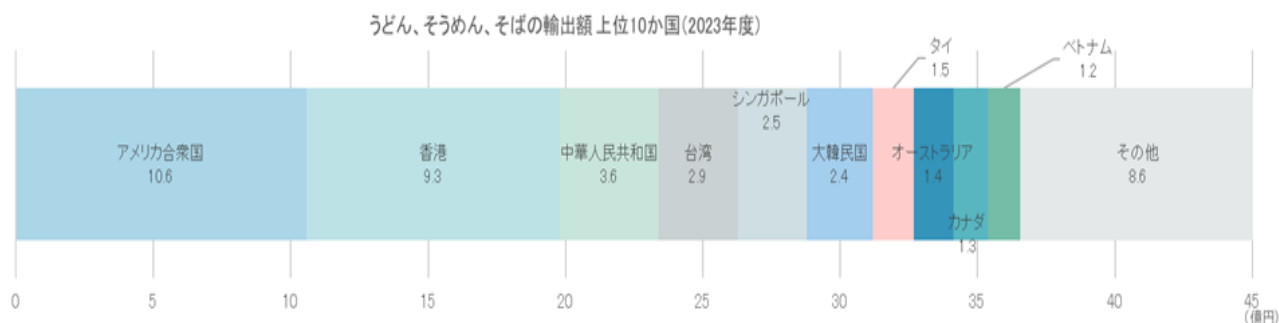


輸出事業計画

※申請者名：香川県、品目：「さぬきの夢」うどん

1. 輸出における現状と課題

- 国内需要の縮小による、海外需要取り込みの必要性
- 一部のうどん製造事業者が東アジアや東南アジアを中心に乾麺輸出に取り組む
- 輸出されるさぬきうどんの原材料はオーストラリア産小麦が大部分
- 令和4年度と5年度に、GFPグローバル産地づくり推進事業を活用し、レンジで温めてすぐに食べられる「調理済み冷凍麺(RTE冷凍麺)」を米国へ輸出
- 現行品種「さぬきの夢2009」は、タンパク質含有率がやや低いため、製麺性に課題
- 輸出拡大には、うどん製品の生産量確保や差別化商品の開発が必要
- 輸送や保管にかかるコストを削減するための各製麺メーカーの連携が必要
- 海外に、形態ごとの商品の魅力や県産小麦の魅力を訴求できていない



財務省貿易統計より

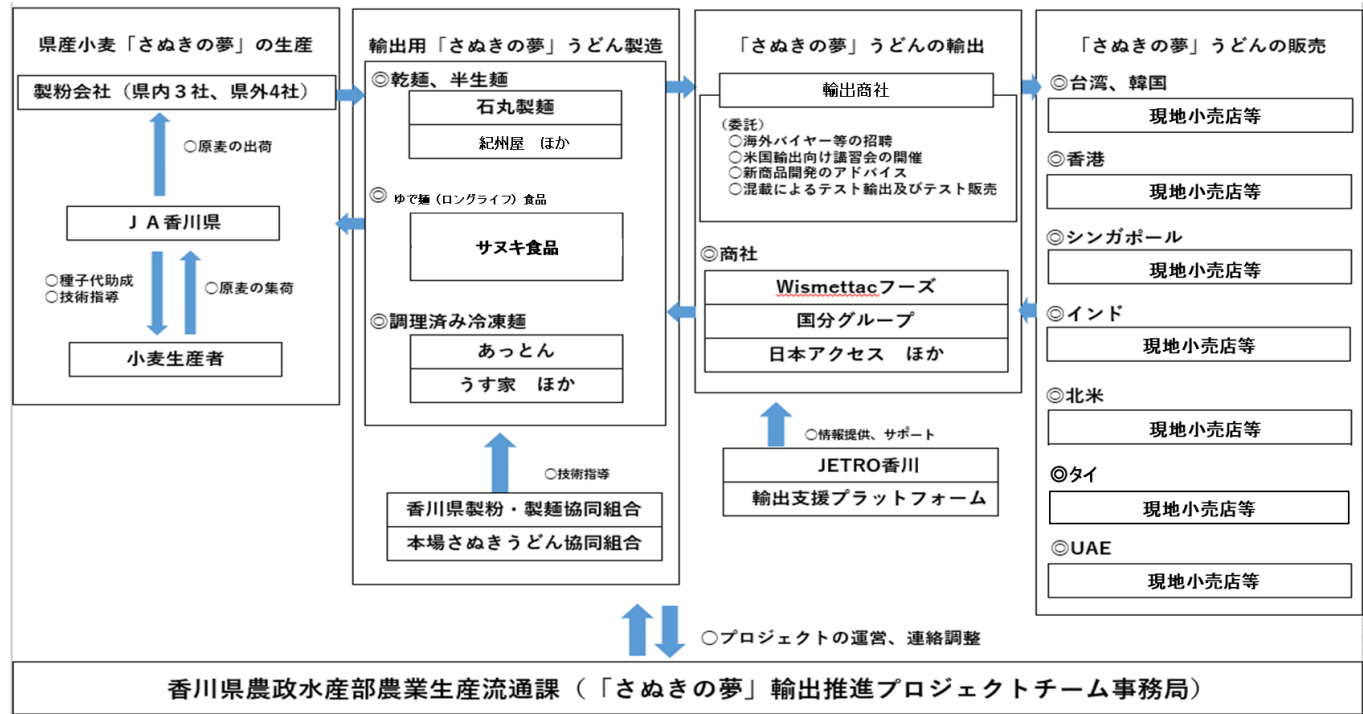
2. 輸出事業計画の取組内容

- 製麺性改善のため、「さぬきの夢2009」と県産強力系品種「はるみずき」とのブレンド商品の開発や、「さぬきの夢2023」への転換を図る
- 「さぬきうどん」の知名度を生かすとともに、県オリジナル小麦「さぬきの夢」や伊吹島のイリコ等の素材へのこだわり等他産地と差別化可能な商品をパッケージも含めて開発する
- 輸出ターゲット国からバイヤーを招聘し、生産・流通体系の転換に向けたアドバイスを得る
- 米国向けには、PCQI講習会を開催し、食品安全計画の策定を進めるとともに、商社等のアドバイスを得ながら食品添加物規制に対応した商品を開発する
- 国内輸送コストを削減するため、各製麺メーカーが保管倉庫や物流センターを共同で利用し、大ロットの輸送を実現する
- 現地の旗艦店などで日本食フェアや定期的な拡売を行いながらマネキンを使った試食販売も実施し、様々な形態の「さぬきの夢」うどんの魅力を訴求する
- 商品パッケージや説明資料、紹介動画、SNS等で、商品のストーリー性や利便性等を訴求する
- 専門のコンサルタント等の指導を受けるなど効果的な販促活動を実施する。併せて輸出支援プラットフォームとの連携を密にする

輸出事業計画

※申請者名：香川県、品目：「さぬきの夢」うどん

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標

「さぬきの夢」うどんの輸出額及び輸出货量

		現状 (令和3年度)	目標年 (令和7年度)
香川県	輸出額(千円)	11,258	161,161
	輸出货量 (kg)	22,762	231,396
	輸出先国	中国、台湾、香港	中国、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、インド、米国、カナダ、UAE